

平成27年度

# (株)レークサイド桜岡の経営状況

## 道の駅部門は過去最高を達成 ホテル部門は宴会等伸び悩み

第23期の総売上高は、ホテル部門が1億6,972万円、道の駅部門が1億4,949万円で会社全体としては3億1,921万円、対前年918万円(3.0%)の増収になりました。このうち町からの管理受託収入を除く売上高ではホテル部門が1億4,230万円、対前年269万円(1.9%)の減収、道の駅部門は1億4,090万円、対前年1,095万円(8.4%)の増収になり、全体では2億8,320万円、対前年827万円(3.0%)の増収になりました。

### ホテル部門

ホテル部門は、プレミアム旅行券、国際交流事業、町の支援事業等の効果があり宿泊売上は6,6

91万円、対前年465万円(7.5%)の増収、人数も8,981人で対前年436人(5.1%)の増になりました。しかし、依然として、ビジネス客の利用を中心としたシングルユースの利用も多く、新年度は定員稼働率を底上げするため、体験型や合宿等により利用促進に繋げ客室の効率を高めるよう努めます。

宴会売上は地元紙広告の活用、弔電の発送による法要利用促進、季節商品等、地域密着型セールスに努めましたが、2,845万円、対前年532万円(15.8%)の減収で、利用状況は285件、対前年57件の減、人数も6,590人で対前年731人(10.0%)の減になりました。

入館売上は1,919万円、対前年5万円(0.3%)の減収に

なり、人数も59,277人で対前年588人(1.0%)の減となりました。新規顧客の取り込みでは、毎月4回の入浴サービスデーによる効果により、常連客の高齢化による減少に一定の歯止めをかけることができましたが、前年度の実績を上回ることはできませんでした。

レストラン売上は、町民還元食事券の利用、週末限定メニューの宣伝、入浴ポイントのスタンプ収集者へのお食事券(500円)の進呈など、昨年から継続サービスと、本年度からミニ丼、ミニラーメンなど、高齢者から要望が多かったメニューも取り入れましたが、客単価の低下もあり、1,700万円、対前年73万円(5.9%)の減収となりました。

売店売上についても、799万円、対前年103万円(11.4%)の減収となりました。

ホテル部門の総入館者数は、宴会利用者等の減少から74,848人で対前年883人(1.2%)の減と非常に厳しい結果になりましたが、本年度に変わった新しい料理長のもと、レストランメニューや宴会等料理を改善し、売上増



### レークサイド桜岡 入館者数

	入館者数①	宿泊者数②	宴会(宿泊)	宴会(日帰り)③	入館者総数 ①+②+③
H24	61,653人 (1日当たり169人)	8,551人 (1日当たり23人)	3,088人 (1日当たり8人)	6,731人 (1日当たり18人)	76,935人 (1日当たり211人)
H25	64,263人 (1日当たり177人)	9,206人 (1日当たり25人)	3,593人 (1日当たり10人)	6,992人 (1日当たり19人)	80,461人 (1日当たり221人)
H26	59,865人 (1日当たり164人)	8,545人 (1日当たり23人)	3,376人 (1日当たり9人)	7,321人 (1日当たり20人)	75,731人 (1日当たり207人)
H27	59,277人 (1日当たり162人)	8,981人 (1日当たり25人)	3,028人 (1日当たり8人)	6,590人 (1日当たり18人)	74,848人 (1日当たり207人)

に繋げてまいります。

経費については、原油安によりA重油単価は下がりましたが、ボイラー等の経年劣化等により、大きな経費削減にはつながりませんでした。また、電気料金の再値上げの影響もあり、節減に努めましたが、大幅な改善には至りませんでした。

以上のことから、ホテル部門の経常利益は昨年の△2,838万円から△2,214万円で、624万円の改善になりましたが、依然として大きな赤字から脱却できず厳しい結果になりました。

## 道の駅部門

道の駅部門は、過去最高の利用、売上を達成しましたが、レストラン、テイクアウト売上が減収となるなど、新たな課題も明らかになりました。なお、売店においては、地場産品と魅力ある商品の充実を図りました。

トイレ利用も含めた入込客数は、535,275人となり対前年9,466人(1.8%)の増となり、レジ通過者及びレストラン利用者の合計は155,223人で対前年4,567人(3.0%)の増

となりました。

テイクアウト売上は、885万円対前年42万円(4.6%)の減収、レストラン売上は、1,826万円対前年30万円(1.6%)の減収となり、新たな取組みの一環として、豊富牛乳を使用したソフトクリームやレストランのランチタイム以降のスイーツ商品の充実を図ります。売店その他商品売上は2,258万円対前年377万円(20.0%)の増収、パン売上は2,892万円対前年207万円(7.7%)の増収、農産物は2,220万円対前年168万円(8.2%)の増収、地場産品は1,946万円対前年25万円(1.3%)の減収、道の駅横での屋台販売は、人気が更に定着し、販売売上は、1,586万円対前年332万円(26.5%)の増収で、本年度も売上を伸ばしました。

経費については、スポット的なアルバイト人員不足を補うため、高額な派遣労働者の雇用を余儀なくされ人件費の増加に繋がりましたが、経常利益は、昨年の1,282万円から1,334万円となり、52万円の増益となりました。

3月の「じゃらん」満足度ランキングではベスト3のハードルは高く、本年も4位となりましたが、新年度こそは更に上位に食い込めるようにチャレンジしてまいります。

なお、本年度3月末の決算累積赤字見込みが、3,000万円を超える見込みとなったことから、町から1,500万円の運営安定助成金を受けたところであり、法人税等引当金控除後の株式会社レイクサイド桜岡の当期純利益は、602万円の黒字決算となりました。

町内唯一の観光宿泊施設として、また、町民の健康増進・保養・憩いの場や地域経済の活性化、雇用の創出など地域の重要な拠点であり、町民の皆様のご理解を願います。

新年度におきましては、「おいしい料理」の定着化による売上増を目指し会社の健全化を図るとともに、今後もより良いサービスの提供を心がけますので、皆様の一層のご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 道の駅絵本の里けんぶち 入館者数



	売店	テイクアウトコーナー	レストラン	直売所	入込客数
H24	4,177人 (1日当たり11人)	92,463人 (1日当たり253人)	25,544人 (1日当たり70人)	18,746人 (1日当たり106人)	140,930人 (1日当たり440人)
H25	1,405人 (1日当たり4人)	97,626人 (1日当たり267人)	28,566人 (1日当たり78人)	21,078人 (1日当たり112人)	148,675人 (1日当たり461人)
H26	2,904人 (1日当たり8人)	98,532人 (1日当たり270人)	30,443人 (1日当たり83人)	18,777人 (1日当たり120人)	150,656人 (1日当たり481人)
H27	6,685人 (1日当たり18人)	98,886人 (1日当たり270人)	29,086人 (1日当たり79人)	20,566人 (1日当たり130人)	155,223人 (1日当たり497人)